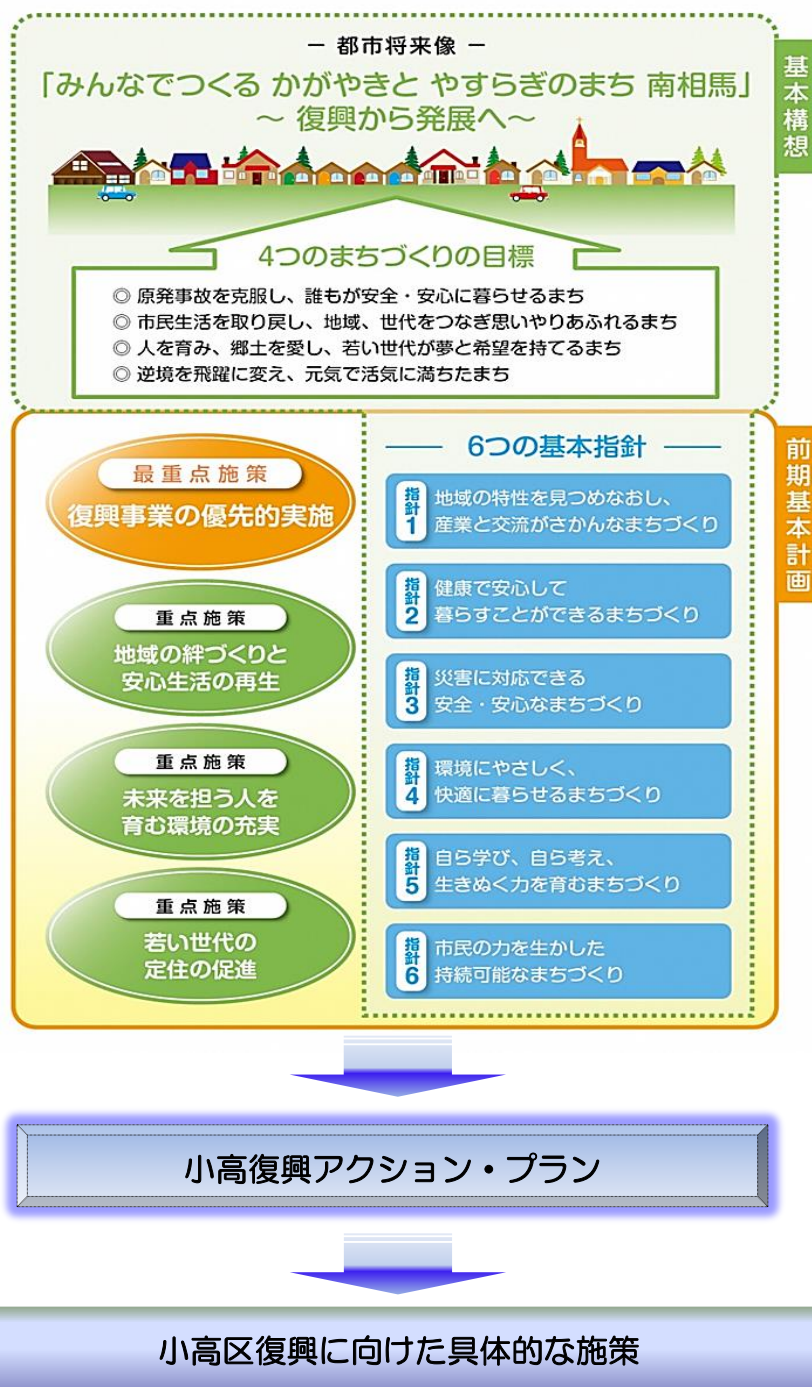


第4章 計画の構成

小高復興アクション・プランの位置づけ

「小高復興アクション・プラン」（以下「アクション・プラン」といいます。）は、南相馬市復興総合計画を上位計画とし、同計画の個別計画として位置付けます。また、南相馬市復興総合計画に示されたまちづくりの目標を、小高区としてより具体的に推進するために策定し、施策を展開します。



## 小高復興アクション・プラン策定期間

年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
復興総合計画の期間	復興総合計画									
	前期基本計画					後期基本計画				
				小高復興 アクション・プラン						

## ・第5章 小高区の目指す将来像

### 小高区の復興の目指すところ

**参考：「みんなでうごき 心うごかす 本気まち ～復興から発展へ～」**

(※市町村合併前のスローガンを参考)

小高復興の目的は、あくまで帰還された一人ひとり、また、これから帰還をされる一人ひとりの生活が復興し、戻ってきて来て良かったと言われる「まち」になることです。

そのためには、小高区民の財産であるふるさとが、元気で活気のあるまちへと一歩ずつ発展し、笑顔の絶えない地域が求められています。

復興総合計画では、南相馬市の将来像として「みんなでつくるかがやきとやすらぎのまち南相馬 ～復興から発展へ～」をキャッチフレーズとして掲げています。

今回策定する、アクション・プランでは、「みんなでうごき 心うごかす 本気まち ～復興から発展へ～」というスローガンを定め、小高区の復興を進めます。

## 第2編 前期基本計画の中の施策

### 第1章 前期基本計画における施策展開

#### (1) 策定の視点

これまで、復興総合計画の前期基本計画期間においては、毎年度事業の評価をしながらローリングを行ううえで、全ての施策及び事務事業の立案を行い、実施計画を策定してきました。

アクション・プランにおいては、小高区の現状の課題解決に向け、施策内体系の、どの内容に優先的に力を入れるべきか、全ての施策と、重点的に取り組む事務事業や帰還状況を踏まえた事務事業等について検討を行い、各施策の力を置くポイントがわかりやすい実施計画としてまとめました。

#### (2) 重点施策等への優先的な取組

南相馬市復興総合計画前期基本計画で示した最重点施策及び重点施策を明確に意識し、小高区の課題解決の着実な推進に資する事業の構築を図りました。

また、各施策の最重点プロジェクトとして、「地域の絆の再生」、「若者が定住し活躍できる取組の構築」及び重点プロジェクトとして、「帰還住民の生きがいづくり」、「交流の促進と連携による活性化」、「安心して暮らしやすい生活環境の整備」、といった5つの仕組み・手法の具体化を図る観点で取組を検討し、アクション・プランの実現につなげていくこととしました。

##### 【小高区】

- ◎最重点プロジェクト
  - ①地域の絆の再生
  - ②若者が定住し活躍できる取組の構築
  
- 重点プロジェクト
  - ①帰還住民の生きがいづくり
  - ②交流の促進と連携による活性化
  - ③安心して暮らしやすい生活環境の整備

- ◆帰還して、住み続けたいと思えるまちへ
- ◆コミュニティの再生及び新たなコミュニティづくりを構築するまちへ
- ◆住んでみたいと思えるまちへ

## ◎ 最重点プロジェクト

**地域の絆の再生**

- 地域再生のまちづくり事業（復興拠点施設を核としたまちづくり事業）
- 地域盛り上げ支援事業（地域サロンからの事業展開）
- みんなで草刈ポイント事業（地域協働の展開）

**若者が定住し活躍できる取組の構築**

- 移住定住促進の環境整備（地域おこし協力隊活動事業、お試し住宅整備）
- 移住定住促進アドバイザー事業（情報提供等のコーディネート）
- 高校生による小高区での実践事業（ドローンを活用した小高区復興CM作成支援事業等）

## ◎ 重点プロジェクト

**帰還住民の生きがいつくり**

- 高齢者の生きがいつくり事業（まちなか菜園）
- 空き地活用推進事業（まちなか周遊パークゴルフ）
- キッズ農園プロジェクト（農業の再生）

**交流の促進と連携による活性化**

- 交流促進支援事業（NPO団体や民間団体との情報発信タイアップ事業）
- 空き地を活用した交流支援事業（空き地等のレンタル支援事業）
- 浦尻貝塚史跡整備事業（小高の歴史・文化の再発見）

**安心して暮らしやすい生活環境の整備**

- 福祉サービス等の充実（健康づくりの推進）
- 子どもの遊び場整備事業（子育て環境の整備）
- 防災組織の再構築、自主防災組織の再生